



# 接地SPD盤

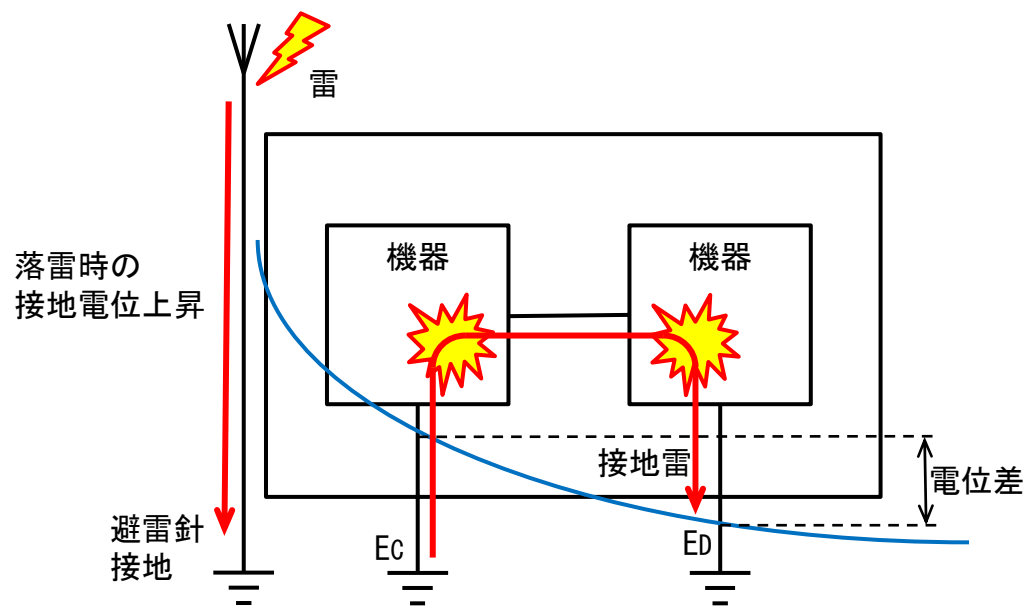
# 接地SPD盤

- ・ 接地端子台と接地用SPDを組合せた接地端子盤
- ・ 樹脂キャビネットにより軽量で施工が容易
- ・ 接地設計に合わせた組合せが可能



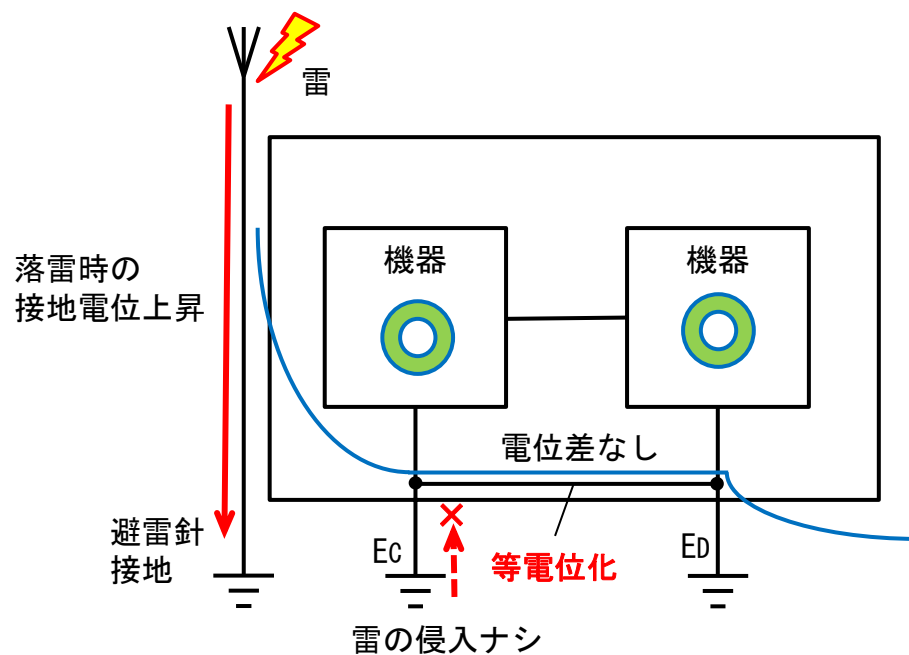
# 等電位化の必要性

- ・ 落雷時に接地極に雷電流が流れると電位が上昇
- ・ 異なる接地極間に電位差が発生
- ・ 電位差により接地から雷サージが侵入する



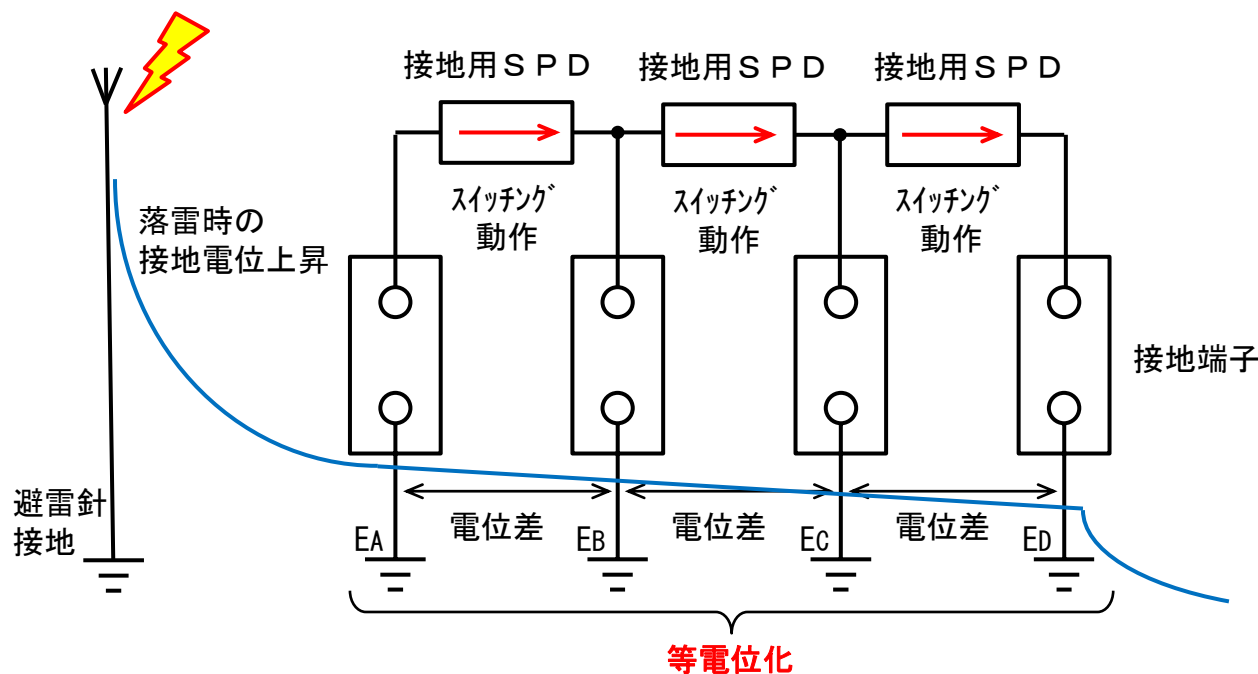
# 等電位化の必要性

- ・ 接地間を繋ぐことにより等電位化する
- ・ 異なる接地極間の電位差は無し
- ・ 接地からの雷サージの侵入が無くなる



# 接地用SPDによる等電位化

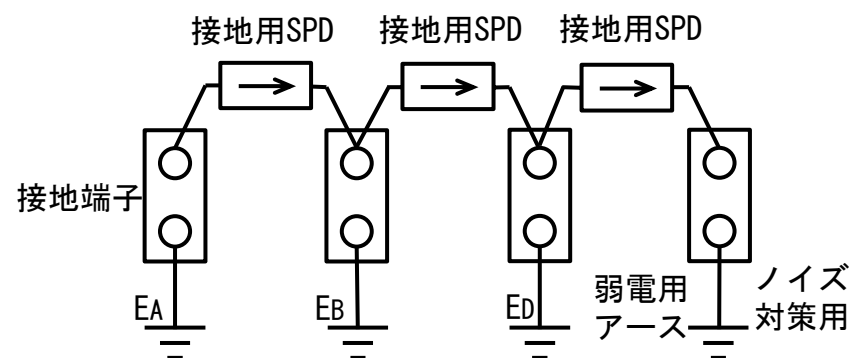
- ・ 雷対策には設備の接地を等電位化する事が有効
- ・ 接地の機能によりそれぞれを繋ぐ事ができない
- ・ 異なる接地を落雷時のみ等電位化する



# 接地用SPD構成

- Class I SPDを使用
- 現場の接地構成に合わせた組合せ
- 接地用SPDを後付けできる（接地用SPD盤）

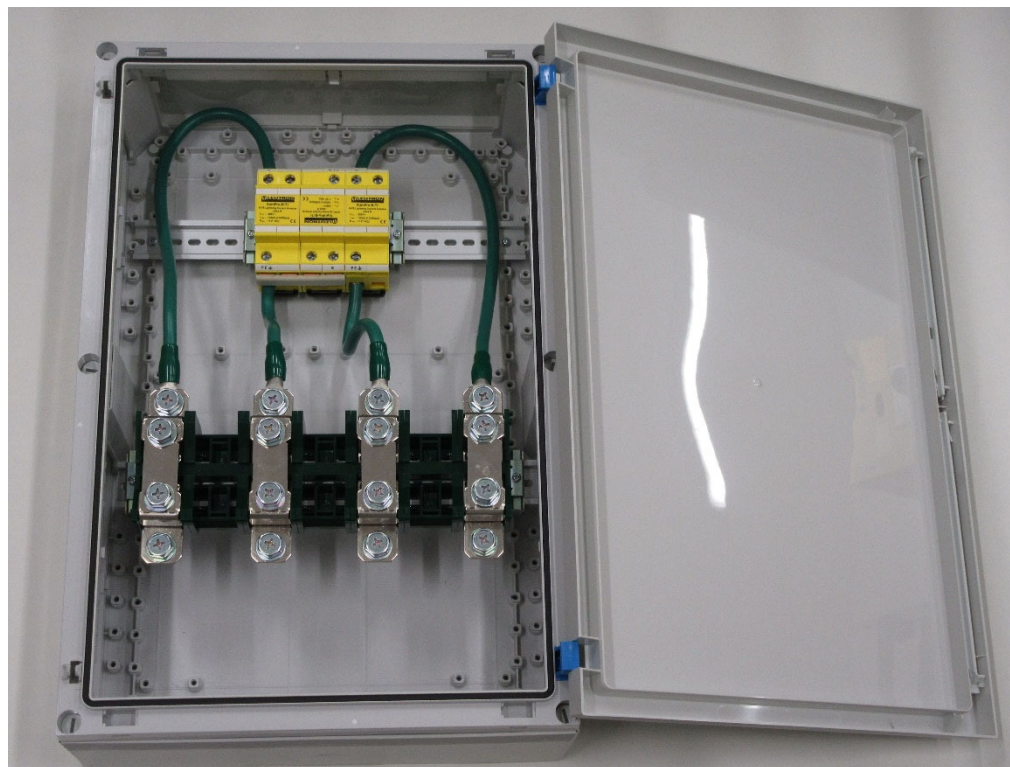
例)





# 接地SPD盤

- ・ SPD内蔵の接地端子箱
- ・ 接地線は60mm<sup>2</sup>まで



## 接地端子盤（SPD付）と接地端子箱

- 接地端子盤（SPD付）  
SPDと接続用端子台を  
収納し既存設備に付加
- 接地端子箱  
SPD盤と組合せ可能  
接地線は100mm<sup>2</sup>まで

※すべての盤において  
カスタム可能

